



## 福岡市総合図書館

福岡市には、総合図書館を本館とし、市内に11の分館があり、各館では子どもも大人も、たくさんの本と出会い、読書を楽しんでいます。

その福岡市の図書館の本館である総合図書館は、図書資料を扱う「図書館」、歴史資料を扱う「公文書館」、映像資料を扱う「フィルムアーカイブ」の3つの機能を有しています。

このほか総合図書館では、ホームページ等での様々な情報提供を行うとともに、読書活動ボランティア講座の開催、地域における読書活動を支援するための団体貸出や学校図書館を支援するための学校図書館支援センターの運営など、すべての方々の読書活動の拠点として、誰もが利用しやすい図書館の充実や市民の皆様への読書活動の支援を推進しています。

また総合図書館内には、こども図書館と点字図書館もあります。こども図書館では、年齢に応じた図書や絵本、紙芝居を収集し、貸出するだけでなく、本の楽しさを伝えるために多くの読書ボランティアと連携して、おはなし会等も開催しています。

点字図書館では、視覚障がいのある方むけの点字図書や録音図書の収集・貸出や点字体験などのイベント等を開催しています。

機会があれば、総合図書館やお近くの図書館へ本を借りに行ったり、図書館で開催されるイベント等に参加されたりしてみても、いかがでしょうか。

### <こども図書館>



こども図書館には、子ども用の広い読書スペースやたくさんの外国語の絵本などもあります。



### <点字図書館>



誰でも入館でき、点字体験などもできます。

## こども図書館 動画紹介

総合図書館にある「こども図書館」では、動画を作成し公開しています。  
下の2次元コードを読み込むか、総合図書館のホームページからも見ることができます。

<こども図書館 講座>

- 講座1 図書館の本の並び方編 図書館の本の並び方がわかれば、本が見つけやすくなるよ！  
講座2 百科事典の使い方編 百科事典が使えるようになると、調べるのが楽しくなるよ！  
講座3 もっと図書館を知ろう！ 図書館の裏側も大公開！  
講座4 福岡市動物園の動物たちを調べてみよう！ 動物たちの動画もいっぱい！  
講座4 特別編 ソウがやってきた！ 福岡市動物園にソウがやってきたよ！



講座1



講座2



講座3



講座4



講座5

- 講座5 この本おもしろいよ！植物編 (7月に新しく公開されました)  
ふーちゃんとそーちゃんとふくろうおじさんが、植物をテーマにおもしろい本を紹介します。



幼児



低学年



中学年



高学年



その他、動画「赤ちゃん絵本のよみきかせ」  
では、保護者の方へ、赤ちゃん向け絵本の選  
び方や楽しみ方を紹介しています。



赤ちゃん



8月27日(水)から、3学期制の学校は「2学期」、2学期制の学校は「前期後半」  
が始まります。夏休みが終わり学校には、元気な子どもの声に戻ってくることでしょう。  
各学校では、読書リーダー養成講座への取り組みや秋の読書週間の準備など、新たな取  
り組みを通して、子ども達の読書活動の推進へのご協力をお願いします。 (須藤)



## 9月8日「国際識字デー」

1965年のこの日、イランで開かれた世界文相会議でイランのパーレビ国王が軍事費の一部を識字教育に回すことを提案したことに由来しています。世界の識字率は着実に向上していますが、それでも読み書きのできない人が約8億人いるといわれています。

## 9月20日～26日

### 「動物愛護週間」

もとはアメリカで始められたもので、日本では1927年に、明治天皇の皇后の誕生日を記念して5月28日～6月3日の一週間を期間としました。戦後、1951年春分の日を中心とする「動物愛護週間」としましたが、いくつかの理由により1954年に、秋分の日を中心とする「動物愛護週間へ変更となりました。

## 西村 京太郎 (1930. 9. 6～2022. 3. 3)

東京都生まれ。日本の推理小説作家。人気シリーズである十津川警部シリーズや、トラベルミステリーで有名です。ヒット作『寝台特急殺人事件』は、日本中にトラベルミステリーというジャンルを示すきっかけとなりました。作者の考えた、鉄道などを使ったトリックやアリバイ工作は、そのリアリティに根強い人気があります。

## アガサ・メアリ・クラリッサ・クリステイ

(1890. 9. 15～1976. 1. 12)

イギリス生まれ。推理作家。66冊の探偵小説と14冊の短編集で知られ、発表された小説の多くは世界的なベストセラーとなり「ミステリーの女王」と呼ばれています。特に架空の探偵エルキュール・ポアロとミス・マーブルを主人公とする小説で有名です。小説『そして誰もいなくなった』は、約1億部を売り上げ、史上最も売れた本の一つにもなっています。

## 筒井 康隆 (1934. 9. 24～ )

大阪府生まれ。日本の小説家、劇作家、俳優。天王寺動物園長だった父の影響を受け、幼い頃から博物的な世界に憧れを持っていたそうです。1965年より本格的な作家活動を展開し、第一短編集『東海道戦争』を刊行しました。『時をかける少女』、『七瀬三部作』、『日本以外全部沈没』などの作品が有名です。

小松左京・星新一と並んで「SF 御三家」とも称されています。

## 中川 李枝子 (1935. 9. 29～2024. 10. 14)

北海道生まれ。日本の児童文学作家。保育園での経験をもとに1962年『いやいやえん』を発表し、厚生大臣賞・サンケイ児童出版文化賞・野間児童文芸推奨作品賞・NHK児童文学奨励賞を受賞しました。その後も実妹の画家・山脇百合子とコンビで、数多くの作品を発表しました。

その他の代表作として『ぐりとぐら』『そらいろのたね』『ももいろのきりん』などがあります。

今月は、登山についての本を紹介します。

『山に登る』 星野 秀樹／写真・文 アリス館

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★★ 中学生★★☆

高校★★☆ 一般★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

山岳写真家の著者が、登山中の様子を撮影した写真絵本です。

山からみる風景、登っているときに会った動物や植物、満天の星空が高精細の写真で載っていて、眺めているだけでその迫力を味わえます。なかなか体験できない、険しい岩場や吹雪の中、雪をかき分けながらの登山の様子の写真もあって、自然の厳しさ、登山の大変さも感じられます。

<子どもに手渡す時のポイント>

この本には、植物や動物などの生物、岩場や溪流などの地形に関するものが登場します。

気になったものについて、ぜひ図書館の本で調べてみてください。

また、同じ著者の山小屋についての写真絵本『黒部の谷の小さな山小屋』(アリス館 2023)も出版されています。あわせて読んでみてください。

そして、読んで登山に興味が出たら、ぜひお子さんと一緒に山に登ってみてください！



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。